

ホールディングス
ATディ

キヨスミ産研をグループ会社化

山形で収集運搬から最終処分まで

アドバンテック・レヒューズ（群馬県前橋市）、三協興産（川崎市）を傘下持つATホールディングス（堀切勇真社長）



堀切勇真社長

長）は3月末、山形県内で廃棄物処理を行うキヨスミ産研（山形市）の全株式を取得しグループ会社化した。

キヨスミ産研は1971年の創業。収集運搬から、破碎、焼却といった中間処理、管理型処分場による最終処分と、山形県内では珍しい廃棄物を



キヨスミ産研の管理型最終処分場

一気通貫で処理できる総合廃棄物処理会社となっている。堀切氏は、「同社は山形の地域にとっても静脈産業としてなくてはならない会社。また、東北地方全体で見ても管理型処分場の残余容量が逼迫する中で、同社の運営ノウハウは大きな評価を得ている。今回縁あってこの会社をグループ会社として迎えることになった」と話す。

ATホールディングスは、群馬県を中心に廃棄物の収集運搬を行うアドバンテック・レヒューズを中核事業会社として展開してきたが、昨年10月に川崎市で廃棄物の収集運搬、中間処理などに幅広く取り組む三協興産をグループ会社とした。今回さらにキヨスミ産研が加わったことで、新たに東北地方にも基盤ができた。

「東北地域でゼロから作り上げるのは難しい。キヨスミ産研の許可や施設を良い意味でグループで譲り受け、東北の地でアドバンテック・レヒューズや三協興産のような事業展開を図って行きたい」ということで、今後はグループでより広域的な事業展開を進め、事業会社それぞれの強みやノウハウを融合させ、相乗効果を発揮させていきたい」と考えた。